

中期経営計画Make Waves 2.0 (2022/4~2025/3) サステナビリティKPI・目標詳細

分野	マテリアリティ	取り組みテーマ	活動とKPI・目標	2023年3月期の進捗	関連する主なSDGs	
環境	気候変動への対応	事業所におけるCO <sub>2</sub> 排出削減 (Scope1+2)	① 省エネ (空調、コンプレッサ、集塵を主なターゲット) によりCO <sub>2</sub> 排出量を5%削減 (2018年3月期比) ② 太陽光発電設備設置や再エネ電力購入により再エネ比率を10%に拡大 ③ CDP気候変動Aリスト企業継続	① コロナ禍で電力効率低下も電力監視システム導入等省エネ施策推進、インターナルカーボンプライシング導入 ② 再エネ電力比率10%達成、太陽光発電増設 (蕭山、杭州)、再エネ電力増 (インド)・導入 (天竜) ③ CDP気候変動 A-	     	
		調達、物流、製品使用における排出削減 (Scope3)	① 調達パートナー企業との削減目標共有と削減量集計システム構築 ② ダウンサイジング、コンテナ積載の工夫等による物流積載効率5%向上、環境対応推進物流企業との契約 ③ 製品の省エネルギー設計: アンプ系音響製品の高効率化/ネットワーク機器の使用電力・通信量の見える化・削減提案/車載オーディオの消費電力削減・スピーカー重量削減/エコプロダクツ (省エネ関連) 認定 10件/年	① サプライヤーCO <sub>2</sub> 管理状況調査実施 ② コンテナ積載率を加味した集合梱包基準策定 ③ 車載オーディオの消費電力削減のための調査完了、重量削減した新スピーカーの量産開始 (従来比: 70%) /エコプロダクツ (省エネ関連) 認定 7件		
		製品・サービスによる貢献	① EV化シフトの安全を担保するLi電池用リークテスターの販売拡大	① Li電池用リークテスターの受注拡大		
	持続可能な木材の利用	木材の持続可能な調達、利活用	① 木材デュエディリジェンス徹底、低リスク判定100% ② 自社基準設定と認証材など基準に適合した木材への設計変更、切替えにより、持続可能性に配慮した木材を75%に拡大 ③ 代替材開発 (樹種変更含む) による希少種の保全	① 木材デュエディリジェンス、低リスク判定99.6% ② 認証材新規採用拡大、持続可能性に配慮した木材の自社基準検討 ③ アフリカン・ブラックウッドを使用した天然材再生技術、電子ピアノコンセプトモデルへの搭載/楽器用木材の高音域の音響特性を再現する人工材設計技術を開発		
		森林育成推進	① 楽器製造に必要な希少樹種のうち3樹種の育成・保全活動を展開: タンザニア (アフリカン・ブラックウッド) 対象エリアの拡大/北海道 (アカエゾマツ) 連携協定の活用/インド (ローズウッド) 基礎調査の開始	① タンザニア (アフリカンブラックウッド) 植林累計1.5万本 (8.5ha)、セングダン科早生樹種の導入試験実施/北海道 (アカエゾマツ) 北海道林産試験場と共同で高齢人工林材の材質研究実施/インド (ローズウッド) 生育、森林管理、流通の現地調査実施 (インド南西部)		
	省資源、廃棄物・有害物質削減	製品・梱包の省資源化・資源循環性向上	枯渇性資源の新規投入削減、製品廃棄量削減の基盤作り ① 3R設計基準の策定と新規開発モデルへの適用 (減量化・減容化、サーキュラー素材の使用、長期使用の促進、分別処理の容易化) ② 不要な梱包材の廃止、サーキュラー素材への転換を推進 (新規小型製品の梱包材廃止) ③ 資源循環の横断課題に対する全社方針決定と運用開始 ・アップグレード、耐久性向上等による使用期間拡大 (ピアノ、PA等) ・日本ではリユースの対象商品を拡大、海外ではリユーストライアル開始 ・外部連携業者の選定とリサイクル実現性検証完了 ④ 未活用材の有効利用 ⑤ オフィスでの紙使用削減、カタログ等販促物のデジタル化推進	枯渇性資源の新規投入削減、製品廃棄量削減の基盤作り ① 資源循環設計マニュアル着手 ② 梱包材プラ廃止に向けた技術情報収集、仕様検討の体制構築 ③ 資源循環実現への基本方針と順守事項の文書準備 資源循環実現への取り組み ・サイレントピアノアップグレード商品化準備 ・楽器買取サービス拡大、中古循環型サブスクモデル事業整備 (日本) ・楽器サブスクトライアル (英) ④ 未活用材の価値を生かしたアップサイクリングギターの企画展示実施 ⑤ 業務プロセスにおけるDX推進/カタログ等印刷販促物デジタル化		
		製品・サービスによる貢献	① 食品/医療包装や電池のラミネート不良を防ぐ超音波検査事業の成長	① 国際食品工業展に包装用ヒートシール検査機を出展、生産ライン導入に向けた食品メーカーでの評価開始		
		有害化学物質削減 (VOC等)	① プラ・金属用水性塗料の基礎技術開発完了 ② ピアノポリエステル代替塗料の基礎技術開発完了 ③ 自動車用内装部品の脱石油・VOCゼロ化に向けた新製法開発推進	① プラ・金属用水性塗料の基礎性能の確認完了 ② ピアノポリエステル代替塗料の一部の基礎性能改良中 ③ 環境負荷削減に向けた試作環境の構築完了		
	社会	平等な社会と快適な暮らしへの貢献	ユニバーサルデザイン・アクセシビリティへの配慮	① 障がい者、高齢者問わずピアノを楽しめる“だれでもピアノ”の開発推進 ② 電子楽器やアプリ (SmartPianist等) への読み上げ機能、音声コマンド機能の実装		① “だれでもピアノ”の開発推進、幅広い応用可能性の検討 ② 電子楽器タッチパネル搭載モデルの63%に音声読み上げ機能を搭載
			遠隔コミュニケーション	① 高品質・自然な遠隔コミュニケーションの実現 (企業、学校等) ② 快適で臨場感のあるリモート演奏・リモートレッスンの実現		① 企業・文教向けにwithコロナ時代の遠隔コミュニケーションカタログを作成 ② 若手ピアニストと音大を繋ぐDisklavierリモートレッスンを実施/Real Sound Viewingの音質改善
心身の安全と健康		① 耳を保護するための、小音量でも良い音の音響技術“リスニングケア”をヘッドホン・イヤホン全商品に搭載 ② 車載オーディオ音響補正機能搭載 (事故防止) ③ 緊急通報システム (e-Call) の高音質化で交通事故被害を低減 ④ 音楽を用いた高齢者の認知症予防、生きがい創出、QoL向上	① 当年度発売のワイヤレスイヤホンとワイヤレスヘッドホン全商品に搭載 ② 車載オーディオ音響補正アルゴリズム検証完了し実装を開始 ③ 緊急通報システム (e-Call) の新規採用を6案件獲得 ④ リアルタイム異常呼吸判定システムの臨床現場での試用開始			
バリューチェーンにおける人権尊重	サプライヤーの労働人権管理レベルの向上	① サプライヤー実地監査導入 (60社) ② 購買品分類毎に管理レベルを設定しデュエディリジェンスを実施	① 実地監査導入に向け監査機関決定 ② サプライヤー管理 2千社に書類監査を実施し是正処置を依頼、管理対象拡大 (販売子会社など) に着手			
文化	音楽文化の普及、発展	音楽文化の普及発展に資する製品・サービス・活動	① 音楽による街づくり事業「おとまち」の拡大 (新規案件10件/3年) ② 楽器をもっと身近に感じて頂くための試奏ピアノ (LovePiano) の拡大 (日本40件/年、海外3件/年) ③ Real Sound ViewingやAIを活用した楽器や音楽文化の保存 ④ 地域音楽の演奏を可能にする電子楽器・コンテンツ提供 (コンテンツクリエイター育成、制作ツール開発) ⑤ 電子楽器 Smart Pianist機能強化、AIによる自動伴奏・難易度調整機能開発 ⑥ 吹奏楽再活性化に向けたキャンペーン展開 (“共奏”の機会、コンテンツ提供) ⑦ ギター上達支援サービスの提供 ⑧ True Sound浸透 (イベント主催、体験の場づくり) で感動の最大化 ⑨ 音楽文化発展に不可欠な講師・技術者の育成 ⑩ 高齢者向け教育機関と連携したシニア需要の開拓 ⑪ 女性向け楽器チャレンジイベント「She's Got The Groove」AP版社への展開拡大 (15社)	① おとまち 福井PJ 5市町展開中、新規: 豊島PJイベント開催 ② LovePiano 40件 (日本38件、中国2件) ③ Real Sound Viewingを活用した馬頭琴、琵琶の展示、プレゼン等実施/沖縄三線での取り組み開始 ④ コンテンツクリエイターを計画通り育成、コンテンツ12バック完成、ローカルテイストを活かしたコンテンツ制作が実現 ⑤ Smart Pianist オートチューニング機能やファイルインポート方法を改善 ⑥ SNSによる中高生吹奏楽応援メッセージ配信など再活性化施策を展開 ⑦ 海外音楽教室講師の指導力向上に向け指導法ウェビナー・演奏法クリニック58回実施、グレード講座62名参加 ⑧ 中国老年大学への楽器寄贈 (4件) ⑨ メキシコにてB&Q、ピアノ、ドラム企画実施/コロンビアにてドラム企画実施/ブラジルにて女性ミュージシャンによるコンサートにて女性音響エンジニアのオペレーションサポート		
		次世代育成への貢献	① 新興国の学校教育への楽器教育普及 (スクールプロジェクト) 支援対象 10カ国 累計230万人 ② 海外音楽教室の在籍者数+10万人 ③ 青少年育成オーケストラ・バンドへの支援を通じた、青少年の健全な精神の育成 ④ 音響教育の提供: より良い音で健康的に音楽を楽しむための学校教育用コンテンツ作成等 ⑤ 中国農民工学校への楽器寄贈 (3回/年) ⑥ 若手音楽家・音楽研究家の活動支援	① スクールプロジェクト 7カ国 6,200校 202.5万人 新規2カ国導入準備 ② 中国などコロナ影響で募集・会場拡大に苦戦も生徒数+1.7万人 ③ 青少年育成オーケストラ・バンド活動支援に向け管楽器リペア認定技術者16名育成、技術・メンテナンスセミナー62回実施 (中南米) ④ 音響教育 座学用教材作成、体験学習用教材開発 ⑥ 若手ピアニストに学びや発表の機会を提供 (マスタークラス、ヤマハホールコンサート)		

人材	働きがいの向上	人材開発など	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 従業員サーベイ「働きがい」肯定的回答率の継続的向上</li> <li>② 人的投資額2倍</li> <li>③ グローバル視点でビジネスをけん引するリーダーの育成と適所適材配置</li> <li>④ 自律的なキャリア開発支援強化による社員一人ひとりの成長の後押し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 仕組み・制度の整備進む</li> <li>② タレントマネジメントシステム導入準備、新教育・学習体系策定進む</li> <li>③ 基盤の一つとなるタレントマネジメントシステムの条件整備一次完了</li> <li>④ ジョブ・スキルを整理し社員自らキャリア形成を描く仕組みを整備／社内キャリア採用公募制度整備</li> </ul>	  
	人権尊重とDE&I	ともに働く仲間の人権尊重施策 (人権教育、デューデリジエンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 時勢に則した人権デューデリジエンスの高度化：人権重点課題特定と範囲・手法見直し／人権課題に対する対応窓口とプロセス明確化／人権教育コンテンツの充実（人権教育 全グループ企業参加）</li> <li>② 通報制度のグローバル標準化、信頼性向上</li> <li>③ 指導者層以上の全従業員に対するハラスメント研修の定期実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 重要な人権リスクの特定／グループ企業人事担当者への人権教育実施</li> <li>② グループ内部通報取扱規程制定、海外全拠点に通報対応マニュアル配布、地域別説明会実施／公益通報者保護法改正対応（日本）</li> <li>③ 管理職向けハラスメント防止研修 926名実施（日本）</li> </ul>	
		DE&I推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 女性役員比率向上に向けた、女性リーダーの戦略的・集中的育成・創出：個別キャリア開発プランの作成／メンタリングスキーム構築</li> <li>② 管理職女性比率向上（管理職女性比率 グローバル 19%）：グループ企業別DE&amp;I行動計画策定・実施／ジェンダー平等+個社課題に基づいたDE&amp;I取り組み促進と、好事例の共有／アンコンシャスバイアス研修の展開</li> <li>③ 外国籍役員比率向上：コアポジション要件の明確化／CDPの計画的実施</li> <li>④ 業務のグローバル化促進とローカル人材育成（クロスボーダー配置 30名）：本部連携の中堅人材の育成的ローテーション／コーポレート部門の個別ニーズ拾い上げ／国際間異動ルール整備／グローバルトレーニー（1-2年）/インターンシップ（半年未満）制度導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 女性活躍推進部会にて女性リーダーの継続的育成・創出を主導</li> <li>② 管理職女性比率 グローバル17.3% DE&amp;Iを中心としたグローバルミーティング実施／アンコンシャスバイアス研修 6,100名実施</li> <li>③ 欧州現地法人にて外国籍の社長就任（2023/4）</li> <li>④ クロスボーダー配置2名、国際間異動規定制定</li> </ul>	
風通しが良く、皆が挑戦する風土の醸成	意識調査、対話機会創出、ワークライフバランス、安全と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 従業員サーベイ「働きやすさ」肯定的回答率の継続的向上</li> <li>② 経営層と従業員の対話など、多様な対話機会を創出し、風通しの良い職場づくりを促進</li> <li>③ 多様で柔軟な働き方の支援（仕事とプライベートの両立のための仕組み）</li> <li>④ メンタルケア体制の再構築</li> <li>⑤ 安全教育再徹底（休業災害ゼロ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康経営銘柄2年連続選定、職場環境改善整備進む</li> <li>② 社長と従業員の対話 オンライン21回268人、現場訪問4回55人（累計 オンライン80回1,004人、現場訪問5回60人）／傾聴トレーニング実施</li> <li>③ 副業制度規定化</li> <li>④ 新メンタルケア体制でのトライアル開始</li> <li>⑤ 海外製造拠点での労災予防取り組み深化／休業災害延べ日数大幅減（対前年）</li> </ul>		